

愛媛県の松野町でエリア定額乗り放題“mobi”によるオンデマンド交通の実証運行開始 ～誰もが自由かつ気軽に出かけられる地域交通で、ワクワクする毎日の暮らしへ～

Community Mobility 株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:村瀬茂高)は、愛媛県(知事:中村時広)および松野町(所在地:愛媛県北宇和郡、町長:坂本浩)と連携し、人とまちが繋がりコミュニティが生まれる「Community Mobility」をコンセプトとしたAIシェアリングモビリティサービス『mobi』(<https://travel.willer.co.jp/maas/mobi>)を、愛媛県の松野町(松丸・延野々・豊岡地区全域 富岡・吉野地区一部地域)で8月1日(火)から12月31日(日)の期間、実証運行します。



『mobi』は、生活圏内の移動において、これまでの徒歩や自転車、マイカーのちょいのりに代わる、新しいスタイルの「共有交通」です。お客様より乗降ポイントの変更・追加などをリクエストすることもでき、自分たちにあった利便性が高いサービスにしていけることができます。まちのみんなが毎月定額を出し合うことで、自分たちの思い通りに動く運転手付きの車を複数台共有する感覚で利用できます。定額料金のため経済的ストレスがなく、通勤通学、お子さまの送迎、買い物、家族でのお出かけなど、家族みんなが自由に快適に移動でき、自分らしく生活できます。

愛媛県は、令和4年度のえひめ南予きずな博の開催期間中に、スマホ一つで複数の公共交通機関をシームレスに利用可能とする「南予デジタル交通チケット YODO MaaS」の実証実験を実施しました。その結果、鉄道や路線バスの結節点から目的地までアクセスする二次交通の課題が顕在化したため、MaaSの推進やオンデマンド交通の実証導入等を進めることにより、二次交通の利便性を高め、地域における交通アクセス強化と公共交通全体の利用促進を図ることとしています。

今回のオンデマンド交通の実証導入においては、Community Mobility 株式会社为爱媛県より「愛媛県オンデマンド交通実証導入業務委託」を受け、北宇和郡松野町で「mobi」を提供し、松野町民の生活利便性の向上を図るためのオンデマンド交通導入における効果検証を図るとともに、愛媛県内における二次交通のアクセス強化にかかるモデル事例の構築を目指します。

mobi サービス提供エリアには、駅や中央診療所(病院)、スーパー、コンビニ、道の駅など、松野町民の毎日の生活で欠かせないスポットが含まれており、「mobi」の提供を通じて、誰もが自由かつ気軽に出かけられるよう地域交通を強化することで、人々の外出の機会を増やし、より豊かな生活につなげていきます。

本サービスのポイントは、以下3点です。

- ① アプリや電話で簡単に呼ぶことができ、AIルーティングにより、お客様の予約状況や道路状況を考慮して、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動できます。
- ② 人気のサブスクプラン「定額乗り放題プラン」は30日間3,000円で利用可能。利用回数が少ない方には1乗車500円(6歳以上12歳未満の子ども250円)の「ワンタイムプラン」があります。ワンタイムプランは、松野町が交付しているタクシー利用券を交付されている方は利用券を200円分利用し、300円で乗車することも可能です。
- ③ 乗降場所は、サービス開始時点で190カ所あり、自分たちが使いやすいよう、乗降場所の追加・変更リクエストが可能です。

